

動物用医薬品

ディアバスター[®]錠

犬猫用止瀉剤

diabuster[®]

有効成分

1錠(270mg)中

タンニン酸ベルベリン…25.0mg
次硝酸ビスマス…100.0mg
ゲンノショウコ乾燥エキス…0.4mg
五倍子末…5.0mg
ロートエキス散…20.0mg

有効成分

1錠(200mg)中

有孢子性乳酸菌…30.0mg
パンクレアチン…60.0mg

動物用医薬品

ビオイムバスター[®]錠

犬猫用整腸剤

bioymbuster[®]

止瀉効果

収れん効果

タンニン酸、ゲンノショウコ、五倍子末

タンニン酸、ゲンノショウコ及び五倍子末に含まれるタンニンは、炎症反応を抑制して組織障害を防ぎます。また、腸粘膜に付着し、粘膜が傷ついた炎症面を収れん作用・止血作用により修復します。

ベルベリン

ベルベリンは収れん作用の他に、強い胆汁分泌促進作用をもちます。腸内細菌の異常増殖を抑制し、腸内細菌叢の正常化を促進します。

次硝酸ビスマス

難溶性の皮膜をつくり、粘膜、潰瘍面を保護します。硫化水素生成物により、腸運動を抑制して、収れん作用を示します。

鎮痛効果

ロートエキス

ロートエキスは抗コリン作用を持ち、迷走神経、食物刺激、ガストリンやヒスタミンによる胃酸やペプシンの分泌を抑制します。また、軽度の局所麻酔作用を有するので、鎮静作用があります。

整腸効果

乳酸菌・有孢子性乳酸菌 *Bacillus coagulans*

ビフィス菌 (*Bifidobacterium longum*)
アシドフィルス菌 (*Lactobacillus acidophilus*)
フェカリス菌 (*Streptococcus faecalis*)

乳酸菌はビタミンやタンパクを合成したり、食物の消化・吸収を助けます。さらに、外来病原菌のバリアーとなって腸管感染を阻止し、腐敗菌などの有害菌の増殖を抑制することで、腸内環境浄化に働きます。また、有用菌の菌体成分は生体免疫能を刺激し、宿主の健康を維持します。

消化吸収の補助

消化酵素

パンクレアチンは、膵液中に含まれる多くの消化酵素を含み、胃や腸ででんぷん、蛋白質および脂肪を分解し、消化を助けます。腸粘膜の損傷や食物の分解に関わる細菌細菌叢の乱れに対する消化吸収の補助などが期待できます。

補足説明

■ 腸内細菌叢の大別

腸内フローラとして検出される主要菌群としては、乳酸桿菌、ビフィス菌、腸球菌などの乳酸菌群、バクテロイデス、嫌気性レンサ球菌、クロストリジウムなどの嫌気性菌群、大腸菌、ブドウ球菌、緑膿菌、酵母などの好気性菌群に大別されます。

さらに、その働きから、乳酸菌群のような有用菌、大腸菌やウェルシュ菌などの腐敗菌に代表される有害菌と、有用菌、有害菌のいずれともいえない日和見菌とに分けられます。

■ 腸内細菌叢の働き

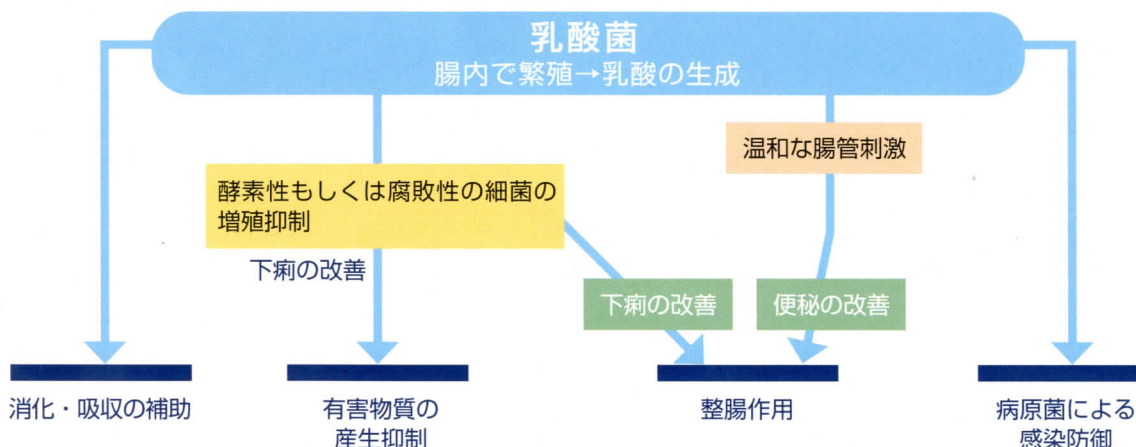
有用菌は、腸内に常在し有機酸や各種の抗菌性物質の産生、腸内pHの低下、酸化還元電位の低下、胆汁酸の脱抱合、場の占拠、栄養素の競合等の機構によって宿主の発育や健康維持に有利に働きます。その働きとしては、次のようなことが考えられます。

- (1) 病原菌による腸管感染や食中毒から、からだを守る
- (2) 腸内の腐敗を抑え、発がん関連酵素活性を及ぼし腐敗産物の生成を減少させる
- (3) 腸の運動を促して便秘を防ぐ
- (4) 宿主の免疫力を刺激し高める
- (5) 発がん物質を分解または吸着する
- (6) ビタミンB群を産生する

腸内細菌を無菌マウスに投与すると生菌・死菌にかかわらず腸内の免疫グロブリンAの産生が促進される。有害菌によって生成される腐敗産物(アンモニア、硫化水素、アミン、フェノール、インドールなど)、細菌毒素、発がん物質(ニトロノ化合物、エポキシド体など)、二次胆汁酸などの有害物質は、腸管自体に直接障害を与えるとともに、一部は吸収されて長い間に肝・脾・心・腎・脳・生殖器などの各種臓器に障害を与え、発がん・動脈硬化・高血圧・肝臓障害・自己免疫病・免疫能の低下など、いわゆる生活習慣病の原因となっている可能性が高いといわれています。

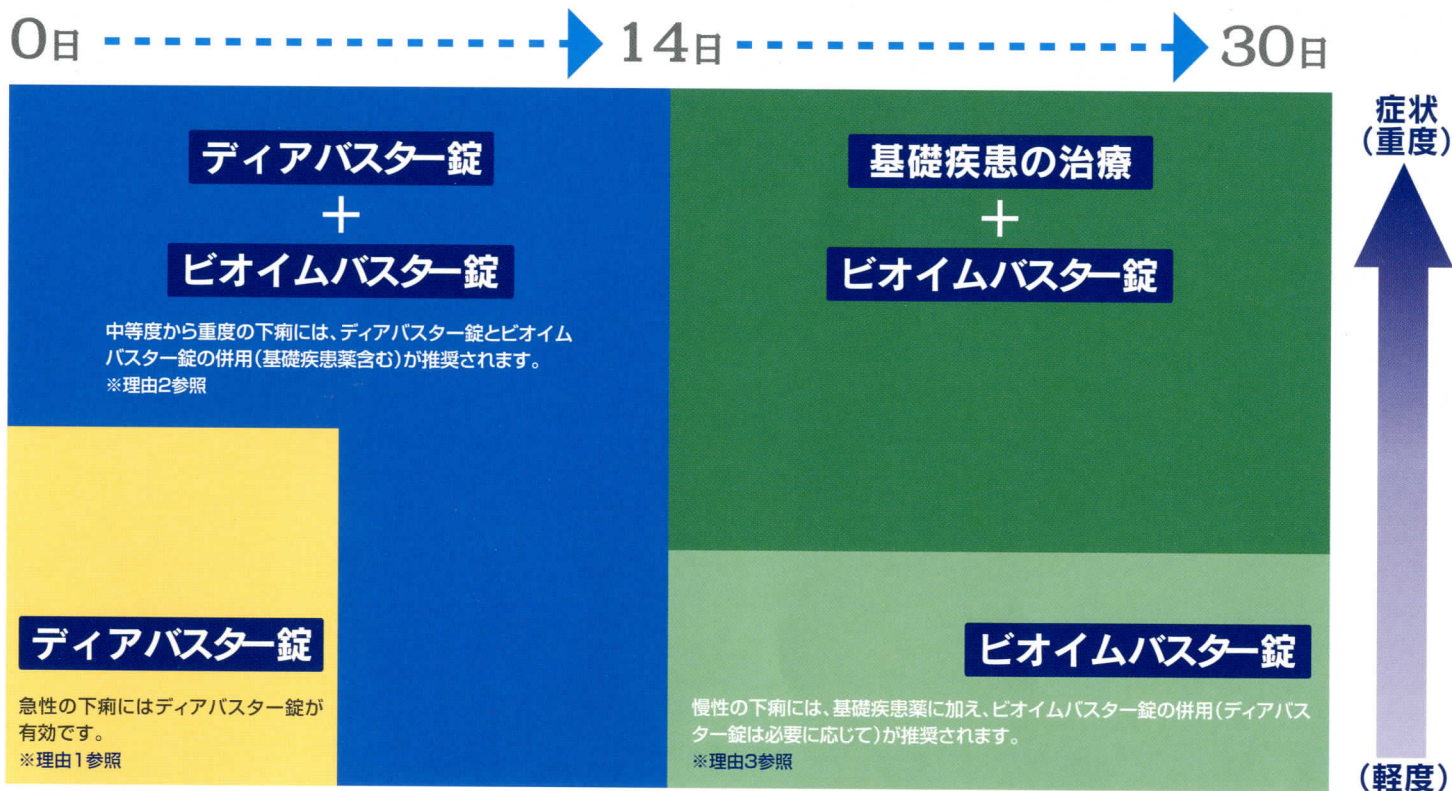
出典：光岡知足【腸内フローラから考えた機能性食品 (Food Style21, Vol.5, No.4 / 2001)】

● 乳酸菌の働き



臨床使用例

● 薬剤の選択例（目安）



※理由1

高い臨床効果に加え、完治に至るまでの日数が短縮できます。

※理由2

ディアバスター錠の収れん効果、鎮痛効果に加えビオイムバスター錠の整腸効果・消化吸収の補助が期待できます。

※理由3

過剰の下痢が生じた場合、他の基礎疾患が併発していることも疑われます。基礎疾患薬以外にビオイムバスター錠の併用が必要と思われる。

● 投与例の一部紹介（臨床試験より抜粋）

● ジアルジア感染症による下痢



- 下痢の状態：泥状便
- 下痢の回数：1日あたりに数回の下痢
- 食欲： 食欲なし：健常時の30%未満
- 元気： 元気なし：健常時の30%未満

メロニダゾール製剤 1日2回、6日間処方

ビオイムバスター錠 1日2回、計30日間処方

結果

治療5日目より、全ての症状が改善した。「ビオイムバスター錠」の長期間投与で病原体の再増殖が抑制された。その後、再発は確認されなかった。

● 急性大腸炎による下痢



- 下痢の状態：泥状便
- 下痢の回数：1日あたりに数回の下痢
- 食欲： 食欲なし：健常時の30%未満

ディアバスター錠 1日2回、4日間処方

ビオイムバスター錠 1日2回、計11日間処方

結果

治療1日目より、全ての症状が改善した。「ビオイムバスター錠」の長期間投与で下痢をコントロールすることができた。その後、再発は確認されなかった。

● 抗生物質投与による軟便

—抗生物質(セフェム系注射剤)投与後に持続的な軟便と元気、食欲の減少が観察された症例—



- 下痢の状態：軟便
- 下痢の回数：1日あたりに数回の下痢
- 食欲： 食欲ややなし：健常時の30-50%未満
- 元気： 元気ややなし：健常時の30-70%未満

ビオイムバスター錠 1日2回、計14日間処方

結果

治療5日目より、全ての症状が改善した。その後、抗生物質投与時には「ビオイムバスター錠」の併用で軟便をコントロールできた。

● 慢性腸炎による下痢

—週余にわたる持続的な頻回下痢と元気食欲低下が観察された症例—



- 下痢の状態：水様便
- 下痢の回数：1日あたりに複数回の頻回下痢
- 食欲： 食欲なし：健常時の30%未満
- 元気： 元気ややなし：健常時の30-70%未満

アモキシシリン製剤 1日2回、5日間処方

ビオイムバスター錠 1日2回、計14日間以上処方

結果

治療5日目より、下痢が改善した。治療7日目より、食欲と元気が改善した。その後、「ビオイムバスター錠」の長期間投与で下痢をコントロールし、元気食欲も維持された。

臨床試験

方法

供試犬 下痢を主訴として動物病院を受診した犬126頭(雄59頭、雌67頭)を用いた。

投与方法 各製品の用法用量に従った。各供試薬を1日2回経口投与(最大7日間)した。

併用薬剤 消化管寄生虫が認められた症例に対しては駆虫薬を投与し、抗菌剤、制吐剤、輸液などの対症療法は必要に応じて実施した。供試薬以外の下痢治療剤およびサプリメントは使用しないものとした。

評価手順 治療開始日(pre)と、その後の最終観察日(post)に臨床症状について評価した。

評価項目

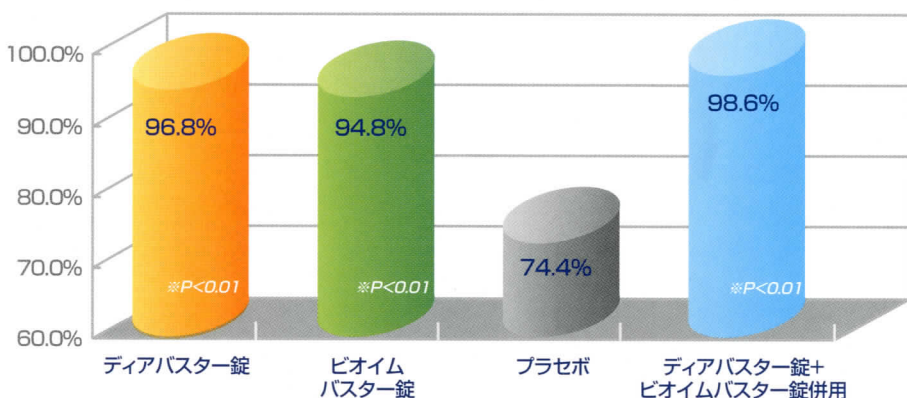
- 下痢の状態は、正常便、軟便、泥状便、水様便まで4段階評価とした。
- 下痢の回数は、下痢なし~1日あたり複数回にわたる頻回下痢まで4段階評価とした。
- 食欲程度は、食欲あり、残餌量が1/3未満~食欲廃絶、残餌量が全量まで4段階評価とした。
- 活動性は、活動性あり~活動性まったくなしまで4段階評価とした。
- 腹痛は、痛みなし~排便時や腹部触診時以外にも疼痛まで4段階評価とした。

臨床グレード 臨床分類として、「完治:スコア0」、「軽度:スコア1~5」、「中程度:スコア6~10」、「重度:スコア11~15」とした

結果

出典: Matsuu et al., Jpn. Vet. Med. Assoc., 62(2009)

総合スコアに対する改善率



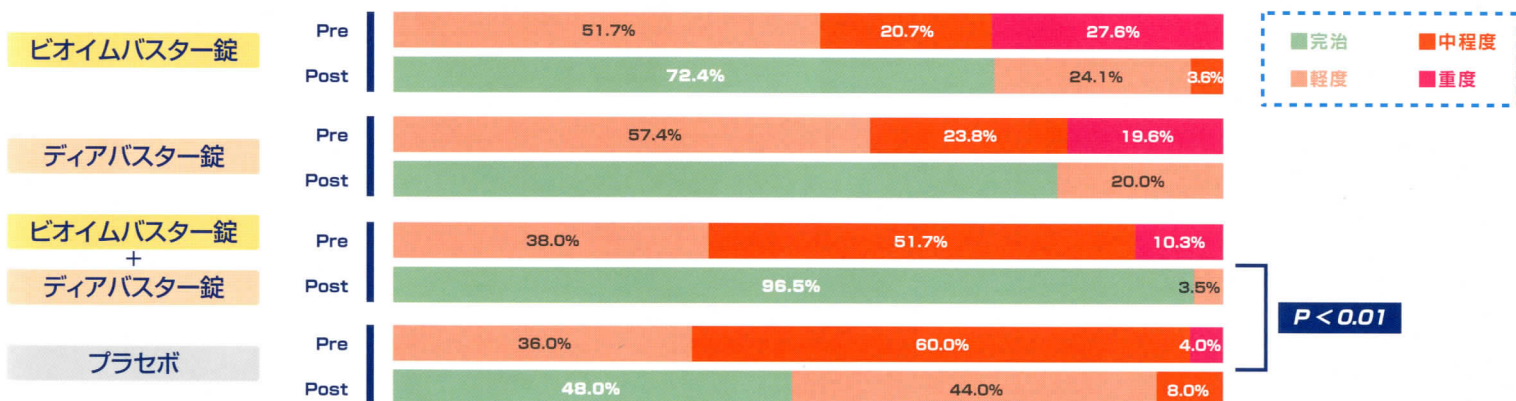
【総合スコア】は、「下痢の状態」「下痢の回数」「食欲程度」「活動性」「腹痛」のスコアを合計したものである。

【改善率】は、PreとPostの比較評価したものである。

改善率 = (Pre総合スコア - Post総合スコア) / Pre総合スコア × 100

ディアバスター	n=21
バイオムバスター	n=29
プラセボ	n=25
ディアバスター+バイオムバスター併用	n=29

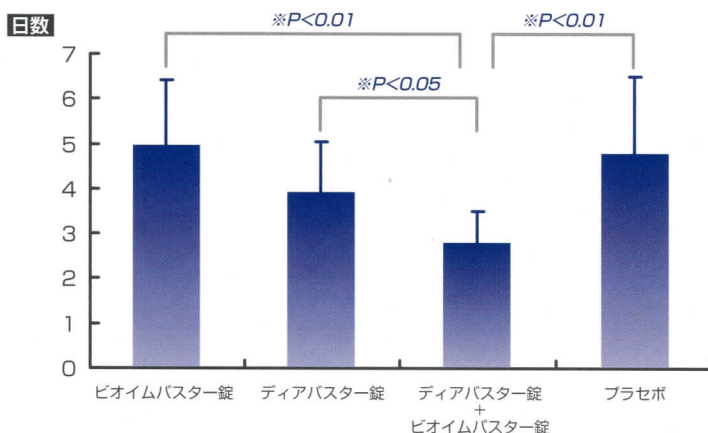
臨床グレードの推移 (治癒率)



考察(抜粋)

犬の急性下痢症に対して、犬猫用整腸剤(バイオムバスター錠)および犬猫用止瀉剤(ディアバスター錠)を単剤投与あるいは併用投与し、対照である医療用止瀉剤(フェロベリン)およびプラセボ剤とその治療効果を比較した。ディアバスター錠およびバイオムバスター錠の単剤投与は、下痢に対する治療効果を有することが明らかになった。また、両剤の併用により治癒までの日数が短縮し、その治療効果も増強することが明らかになった。

完治に至るまでの日数 (短縮日数)



犬猫用整腸剤

用法・用量

犬		猫	
20kg以上	3錠	3kg以上	1錠
5kg以上,20kg未満	2錠	1kg以上,3kg未満	1/2錠
5kg未満	1錠	1kg未満	1/4錠

効能・効果

犬猫：食欲不振、消化不良。単純性下痢。

使用上の注意

❖ 一般的注意

- (1)本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (2)本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (3)本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

❖ 使用者に対する注意

誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

❖ 犬猫に対する注意

相互作用：抗菌性物質製剤との併用は避けること。

❖ 取扱い上の注意

- (1)使用済みの包装容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (2)本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (3)使用期限が過ぎたものは使用しないこと。

❖ 保管上の注意

- (1)小児の手の届かないところに保管すること。
- (2)本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

貯法及び有効期間

- (1)室温保存
- (2)3年間

包装：PTP包装 100錠（10錠×10シート）

犬猫用止瀉剤

用法・用量

犬		猫	
20kg以上	3錠	3kg以上	1錠
5kg以上,20kg未満	2錠	1kg以上,3kg未満	1/2錠
5kg未満	1錠	1kg未満	1/4錠

効能・効果

犬猫：下痢における症状改善。腹痛、疝痛。

使用上の注意

❖ 一般的注意

- (1)本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (2)本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (3)本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

❖ 使用者に対する注意

誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

❖ 犬猫に対する注意

副作用：本剤の投与により、便秘あるいは排便回数の減少の症状が認められることがある。

❖ 取扱い上の注意

- (1)本剤を分割投与する場合は、速やかに使用すること。
- (2)使用済みの包装容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (3)本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (4)使用期限が過ぎたものは使用しないこと。

❖ 保管上の注意

- (1)小児の手の届かないところに保管すること。
- (2)本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

貯法及び有効期間


- (1)室温保存
- (2)3年間

包装：PTP包装 100錠（10錠×10シート）

製造販売業者:

 共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南1-5-10

製造元:

 三宝製薬株式会社
福島県白河市大信下新城字東区2-5

開発元:

 獣医医療開発株式会社
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-133-1